

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	個別療育センター 結いの虹 昭和町教室		
○保護者評価実施期間	2025年1月21日 ~ 2025年2月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年2月15日 ~ 2025年2月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遊びを通して子どもの自発的な発信ややりとりを促す事	<ul style="list-style-type: none"> 個々のお子様の発達段階に合わせた遊びを提供できるよう遊びの段階表を用いて設定しています。 支援者に注目できるようおもちゃの量や対面で遊べるように環境を調整しています。 言語以外の発信についてもしっかりと受け止めるように関わり、ご本人のペースでやりとりできるように待つことも意識しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 提供できる療育の内容に大きな差が生じないようにする。 定期的にセッションに同行して助言ができる体制をつくる。
2	保護者様のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ペアレントプログラムの実施。 個別の相談会の実施。 セッションを見学していただくことで、ご自宅でのお子様との関わりや遊び方の参考にしていただけるよう提案しています。 小学校進学の際のサポートブック作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者交流会の実施。 ペアレントプログラムを多くの保護者の方に利用できるよう体制を整える。 保護者向け勉強会実施。
3	すべてのスタッフに学びの機会がある事。	<ul style="list-style-type: none"> 外部のオンライン研修を受講できる体制が整っている。 会社全体での学習会が実施されている。 療育のに関する書籍を定期的購読している。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のスタッフに学んだ事をアウトプットする機会を設け、より実践に役立つ技術や知識として身につけてもらう。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会に参加できていない。 地域の方と関わる機会を設ける事ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会の参加。 地域で療育を検討されている方に向けた子育て相談会の実施。
2	子ども同士で関わる機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 小集団で療育を提供できる機会が少なく、事業所としての経験が少ない。 同じ時間や発達の状況などお子様同士のマッチングが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 小集団の療育についての知識を深め、必要な方に提供できる体制をつくる。
3	ホームページやSNSからの発信が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を発信する体制が整っていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を発信できるような体制を整える。 発信できる内容を充実させる。